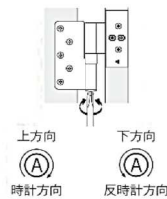
 金具調整の際、電動ドライバーのご使用はお控えください。

金具調整

[1] 片開戸

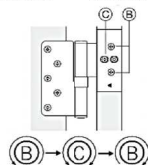
◎ 枠に当たる場合

丁番の調整機能を使って、位置の修正を行なってください。



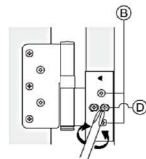
上下調整 扉下側の丁番を調整します。

- 扉下側の丁番のキャップを外して左図のようにプラスドライバーで調整します。
- 扉を開閉し、作動の確認をします。
- 調整が終わったら上側の丁番の軸受けを下げます。
- 外したキャップを取り付けます。



前後調整 上側の丁番から調整します。

- 扉を手で押さえ上側の丁番固定ネジBを緩め、前後調整ネジCにて調整し、再び固定ネジBを締め付けます。
- 下側の丁番も同様に調整します。
- 扉を開閉し、作動の確認をします。



左右調整 上側の丁番から調整します。

- 扉を手で押さえ固定ネジBを緩め、調整ネジDを調整し、再び固定ネジBを締め付けます。
- 下側の丁番も同様に調整します。
- 扉を開閉し、作動の確認をします。

吊元方向へ移動 ドアノブ方向へ移動

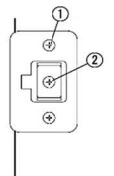


◎ 扉がガタつくまたはラッチ受けが入りきらない場合

ラッチ受けの調整機能を使って、建て付け補正を行なってください。

各部位名称

①固定ネジ ②前後調整ネジ



前後調整

※受箱は、前後5mmの調整範囲があります。

- ラッチ受けの中の前後調整ネジ②を、プラスドライバーでまわすと左右にスライドします。

[2] 表示錠の解錠

※室内側から鍵がかかってしまった場合

施錠されている場合、
下図のような状態になっています。
コイン錠の溝にコイン、
またはマイナスドライバーを入れます。

- レバーが右にある場合は、コイン錠を左に回すと解錠になります。
- レバーが左にある場合は、コイン錠を右に回すと解錠になります。

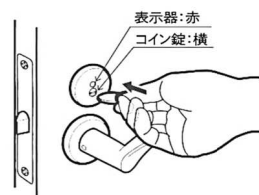


イラスト:レバー右側時

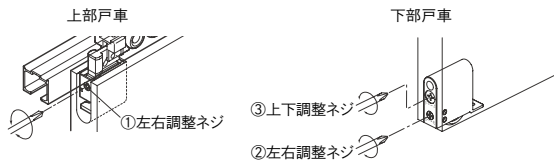


金具調整の際、電動ドライバーのご使用はお控えください。

金具調整

[3] 引戸(下荷重)

引戸の戸車はプラスドライバーで、上下左右調整ができます。

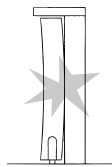


各部位名称

- ①左右調整ネジ(上部戸車)
- ②左右調整ネジ(下部戸車)
- ③上下調整ネジ(下部戸車)

※取付けネジは、調整時使用しません。

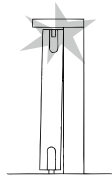
敷居と扉本体との標準スキマ寸法は4mmです。



左右調整 (調整範囲 ±2mm)

上部戸車は、カバーを外してから調整を行なってください。

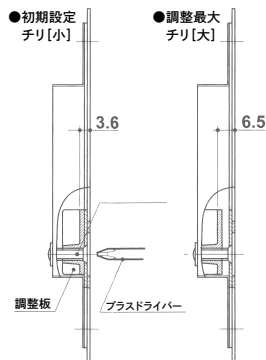
- 上部戸車の場合 … 左右調整ネジ①を右に回すと、扉本体は右に動きます。
左右調整ネジ①を左に回すと、扉本体は左に動きます。
- 下部戸車の場合 … 左右調整ネジ②を右に回すと、扉本体は右に動きます。
左右調整ネジ②を左に回すと、扉本体は左に動きます。



上下調整 (調整範囲 ±3 mm)

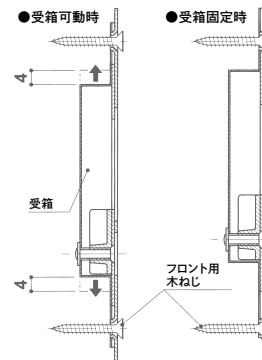
- 上下調整ネジ③を右に回すと、扉本体は上に上がります。
- 上下調整ネジ③を左に回すと、扉本体は下に下がります。

[4] 引戸鎌錠



前後調整

- 前後調整ネジ①をプラスドライバーで回し、隙間を調整します。



上下調整

- フロント用木ねじを一旦緩め、受箱を上下に動かして調整します。位置が決まったら、フロント用木ねじを締め付けて固定します。



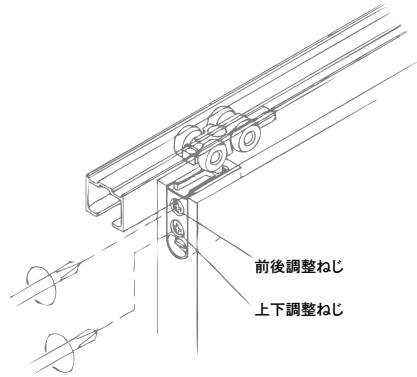
金具調整の際、電動ドライバーのご使用はお控えください。

金具調整

[5] 引戸(上吊仕様)

◎上下左右調整

戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回せば、戸の前後調整、
下のねじを回せば戸の上下調整ができます。

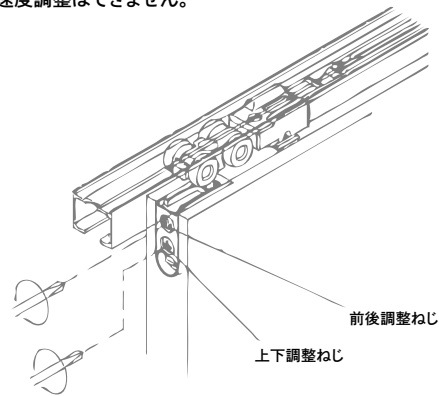


[6] 引戸(ソフトクローズ機能付 上吊仕様)

◎上下左右調整

戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回せば、戸の前後調整、
下のねじを回せば戸の上下調整ができます。

※ソフトクローズの速度調整はできません。



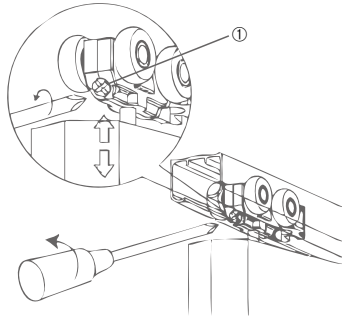


金具調整の際、電動ドライバーのご使用はお控えください。

金具調整

[7] 折戸の調整と固定

◎扉の上下調整



各部位名称
①上下調整ネジ

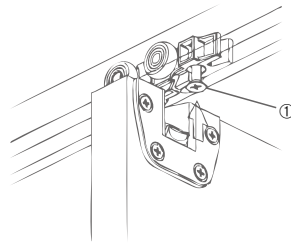
上下調整 (調整範囲 上方向3mm 下方向2mm)

- 上下調整ネジ①を右に回すと、扉本体は上に動きます。
- 上下調整ネジ①を左に回すと、扉本体は下に動きます。

◎吊元固定

フリーオープンから完全固定にする場合の手順です。

※固定ネジを締めこむ際、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。



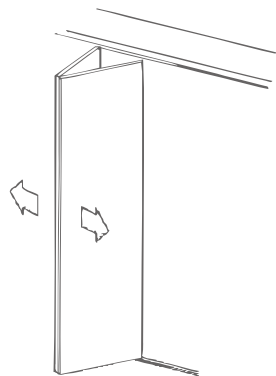
各部位名称
①固定ネジ


固定

- 固定ネジ①を右に回すと、固定されます。
- 固定ネジ①を左に回すと、フリーオープンになります。

◎確認

扉の開閉を行い、扉がしっかりと固定されているか確認してください。

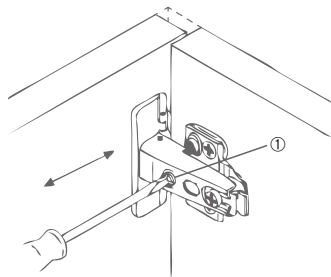


 金具調整の際、電動ドライバーのご使用はお控えください。

金具調整

[8] 両開戸 (スライド丁番の調整方法)

◎左右調整



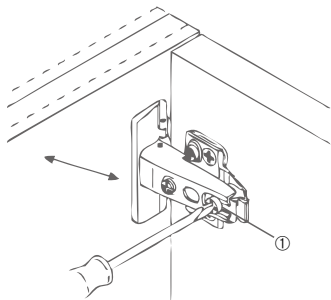
各部位名称

①左右調整ネジ

左右調整 (調整範囲 $-3\text{mm} \sim +1\text{mm}$)

- 左右調整ネジ①を右に回すと、扉本体は戸先方向に動きます。
※吊元の隙間が広がります。
- 左右調整ネジ①を左に回すと、扉本体は枠方向に動きます。
※吊元の隙間が狭くなります。

◎奥行調整



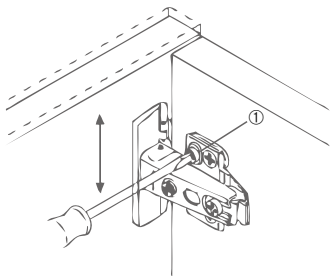
各部位名称

①奥行調整ネジ

奥行調整 (調整範囲 $-1\text{mm} \sim +3\text{mm}$)

- 座金の奥行調整ネジ①をドライバーで緩め扉本体を動かし、奥行調整ネジ①を締めて固定する。
※他のビスを緩める必要はありません。

◎上下調整



各部位名称

①上下調整ネジ

上下調整 (調整範囲 $\pm 2\text{mm}$)

- 座金の上下調整ネジ①をドライバーで緩め扉本体を動かし、上下調整ネジ①を締めて固定する。
※他のビスを緩める必要はありません。

[9] 金具のメンテナンス

- 定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。必要以上に強くこすると、キズがつく恐れがあります。
また、汚れがひどい場合は、水または中性洗剤を水で5~10%程度に薄めて浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品などは表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。
※上記成分の含まれる除菌シートなども、ご使用にならないでください。